

特 種 品	金属くず	工 荷 金 工 荷 機 工 荷 輸	2.85 0.21 0.16	113213.0	0.398	工 荷 総 工 荷 輸	0.18 2.30	-42584.8	0.780
	動植物性飼肥料	畑 面 積 工 荷 総	9.28 0.84	-37137.1	0.578	畑 面 積 事 従 農	7.48 44.58	471486.0	0.567
	その他の特種品	商 従 総 工 従 総	122.96 56.67	3430420.0	0.919	商 従 総 工 従 総	63.06 97.75	3191500.0	0.922
そ の 他	その他	商 従 総 工 従 総	5.57 8.54	-139586.0	0.950	商 従 総 工 従 総	6.56 11.69	-163040.0	0.979

参 考 文 献

- 1) 高野伸栄, 藤兼雅和, 五十嵐日出夫: 対話型変数選択システムによる物流量発着モデルの構築. 土木学会第46回年次学術講演会講演概要集第4部, 1991年, p. 280-281
- 2) 高橋友昭, 高野伸栄, 佐藤馨一: 北海道における将来物資流動量の予測に関する研究. 平成3年度土木学会北海道支部論文報告集, 第48号, 1992年, p.817-822
- 3) 高橋謙介, 高野伸栄, 佐藤馨一: 物資流動における機関別分担モデルの構築に関する研究. 平成4年度土木学会北海道支部論文報告集, 第49号, 1993年, p.797-802
- 4) 田中豊, 垂水共之, 協本和昌編: パソコン統計解析ハンドブックII多変量解析編. 共立出版(株), 1984年

【書 評】

板倉 実 著

ス ー パ ー S E

—システム設計と管理の社会学—

日科技連出版社 224頁 1993年4月刊 定価3000円

ソフトウェアの開発は技術の最先端をゆくハードウェアとは裏腹に、いまだに産業革命前の手作りに頼っているとんでもない。それゆえ、ソフトウェアの出来、不出来は開発に参加するメンバーの質に大きく左右される。また、ソフトウェアのプロジェクト管理は人間の管理が大きなウェイトを占めている。本書はその副題にもあるように、社会的、人間的側面にスポットライトを当てて、ソフトウェア開発をうまくこなすための多くのヒントを与えてくれる。この種の本としては珍しく、随筆調の文章で全体が流れていく。とは言っても必要とところでは定量的な分析が加えられ著者の主張の説得力を増している。システム開発プロジェクトの各段階でSEはいかに振る舞うべきかを多くの失敗あるいは失敗しかけたプロジェクトの実例もまじえ語りかける。豊富なシステム開発経験にもとづいて書かれていることを随所に感じさせる書である。

本書は7章から構成されている。まず、スーパーSEのプロフィールをいくつかの実例を通して描きだしている。事実を認識するための現場、現物主義の重要性を説き、システム開発初期段階の政治屋SEと後半の設計・製作・試験段階における技術屋SEの使い分けについても述べている。次に、コンピュータシステムの変遷、コ

ンピュータの機能、特徴について多少具体例をいれて紹介。これらのイントロのあとメインテーマである事務処理関係を中心に業務システム設計、製作、試験における留意点について、具体例と定量的分析を加え説明している。さらに、プロジェクト管理について触れ、この中で富士通におけるシステム開発方法論、というよりはシステム開発構造モデルである“SDEM90”の基本的考え方について述べている。

本全体の構成としては、やや練り足りなさを感じさせる。特に章立てと中身が必ずしも一致していないのは気になる。この本の中で著者がスーパーSEの必要条件のひとつとして一貫して主張しているのは事実の認識、著者の表現を借りるとゼロベースからの問題解決である。そのためにも、現場に出て、現物による事実の確認が必要である。

この本の随所に設けられている“コラム暇つぶし”はそれ自身ユーモアと示唆に富んでいて本書を一層読みやすく楽しいものになっている。業務システムのソフトウェア開発を行なっている技術管理者、システム・エンジニア、設計者、プログラマーにはぜひ読んでもらいたい本である。

(山下勝比 榎東芝 東京システムセンター)